

【施策評価調査】

施策名	2-3-3	障害者元気プランの策定と運用		90	障害者が地域で自立した生活が送れるよう 障害児者の活動拠点となる施設を確保し、社会参加を促進します。 電話や来所、訪問による相談及びその後の継続的なフォローを行います。 障害者の自立と社会参加及び介護者を支援するための体制づくりを構築します。 一人ひとりによる障害児の安全確保、集団生活による自立促進を図ります。 当施策は、 の観点から障害者元気プランに基づき、効果的な運用を図っていきます。
	担当部課	住民生活部健康福祉課	担当 リーダー		
環境変化	障害者及びその介護者の高齢化・核家族化が増加の傾向にあります。 これに伴い、日中活動系福祉サービスに対するニーズが一層高まってきています。身近なところで生涯にわたって一貫したサービスが利用できるよう、介護保険事業所と連携を図り、障害福祉サービスを充実させることが必要となっています。				支援費制度の創設、障害者自立支援法案による改革のグランドデザイン案など、障害者を取り巻く仕組みが大きく急激に変化しています。障害者福祉に関する制度変更を踏まえた障害者福祉計画を平成18年度に策定します。この計画には、国が定める制度的確な実施、障害福祉に関する理念、そして、町の進むべき方向性などを盛り込むこととし、策定会議を設けて十分な議論と検討を行います。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：障害者福祉計画の策定	平成17年度	計画	策定		協議会設置		
	未策定	実績	策定		協議会設置		
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	2,477,000	0	502,000		
決算	1,363,150	0	138,000			

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
障害者福祉計画策定事業費	当初 502,000	策定件数 自立支援協議会を設置し、その後の計画等の検討をしていく。	A	策定のみ協議会とせず、計画遂行後もその検証やサービスの見直しに際して、意見を伺うことができた。			
	決算 138,000	1件 / 1件		今後の方向性 (自己評価)	継続	今後の方向性 (総合評価)	継続
	当初						
	決算	/		今後の方向性 (自己評価)		今後の方向性 (総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性 (自己評価)		今後の方向性 (総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
		計画策定のみ協議会とせず、計画実施の検証ができる。
総合評価	総合評価	
	継続的に施策展開されていると評価する。 ただし、後期計画策定に向け、運用に係る施策展開を検討するとともに、併せて施策指標の見直しを行うこと。	